

## 第56回大方の秋まつり・第6回黒潮町まるごと産業祭

「第56回大方の秋まつり」が11月10日(土)・11日(日)に、また、「第6回黒潮町まるごと産業祭」が11日(日)に開催され、会場の土佐西南大規模公園周辺に約8千人が訪れました。

「大方の秋まつり」では、町内の保育園や小・中学校の子どもたちによる図工や書道、似顔絵などの展示や、一般の方による陶器や絵画、写真、生け花などの出展がありました。子どもたちの作品を見に来た人や散歩の途中で寄ってみたいという人など、約2千人が文化作品に触れました。

一方、「黒潮町まるごと産業祭」では、大西町長から「来場者に楽しんでもらえるよう精一杯のおもてなしをしたい。伝統文化や芸能産業をゆっくり楽しんで」と開会



展示作品を楽しむ来場者



町長による挨拶

の挨拶がありました。

会場には、町内外から飲食や雑貨の出店があり、町内から訪

れたという人は「今日は黒潮町が賑やかな日。存分に楽しんで帰りたい」と話し、黒潮町の秋を楽しんでいました。また、土佐くろしお鉄道・高知西南交通バスサポート・ズクラブによるブースでは、ボンネットバスの乗車体験など、公共交通機関のPRも行われました。

そのほかにも、毎月第2日曜日に開催されている「海辺の日曜日」も同日に開催。来場者は産業祭とあわせて楽しんだ様子でした。



同日開催の「海辺の日曜日」

## 月夜に浮かぶ砂浜映画祭

「The Moonlight Film Festival 2018」砂浜で楽しむ月夜の映画祭」が10月27日(土)、入野の浜で開催され、約250人が映画を鑑賞しました。

同イベントは、昨年が続いて2回目の開催。当初は、黒潮町内で若い世代が会場を提供したいという思いから町が開催しましたが、今年には黒潮若手の会が加わり、「若い世代だけでなく、幅広い年代に楽しんでもらえたら」と実施しました。

今回は2016年アカデミー賞で6部門の受賞を誇る「L A L A LAND」を上映。映画が始まる



星空の下で映画を鑑賞

の向こう側から月が昇り始め、来場者は月や星空、波の音など、自然環境も楽しみな

## 第24回潮風のキルト展

特定非営利活動法人NPO砂浜美術館による「第24回潮風のキルト展」が11月10日(土)から12日(月)までの3日間、砂浜美術館(入野松原)を会場に開催されました。

同イベントは、「布を楽しむ」をテーマに、一般公募によりキルト作品を募集し、松原沿いに展示をするもので、今年には小キルトの部、大キルトの部に加え、クッションの部が新たに設けられました。

また、手芸男子ユニットとして活動する2人を中心に集まったPatchwork Lifeによる企画展では、砂浜美術館の風景をモダンキルトとして表現したクッションが松原の中に展示され、新しいキルトの楽しみ方を提案していました。



作品を撮影する来場者

来場者は、「太陽の光が優しくキルトを照らしていてとても気持ちが良い。工夫を凝らした作品がたくさんあってゆっくり楽しめる」と、作品と会場の雰囲気を楽しんだ様子でした。